

平成30年度 事業報告書

★ 大阪工業技術専門学校

1. 学科別出願者、入学者数の状況

(2019年5月1日現在)

学科名 \ 区分	定員	出願者	入学者
建築学科	80名	149名(140)	128名(128)
建築設計学科	40名	27名(26)	22名(25)
設備環境デザイン学科	25名	14名(12)	14名(12)
インテリアデザイン学科	40名	38名(25)	36名(25)
大工技能学科	40名	42名(47)	42名(46)
ロボット・機械学科	40名	63名(53)	46名(43)
建築士専科	50名	53名(42)	46名(38)
Ⅱ部建築学科	80名	45名(50)	42名(48)
フレックス建築学科	40名	4名(5)	4名(4)
合 計	435名	435名(400)	380名(369)

() は昨年度数

2. 就職の状況

① I 部 卒業生

(平成31年3月31日現在)

学 科 名	平成28年度				平成29年度				平成30年度			
	卒業者	求職者	内定者	内定率	卒業者	求職者	内定者	内定率	卒業者	求職者	内定者	内定率
建築学科	57	34	29	85.3	74	39	36	92.3	81	50	44	88.0
建築設計学科	19	13	12	92.3	13	11	10	90.9	25	22	20	90.9
設備環境デザイン学科	11	8	8	100	8	8	8	100	9	7	7	100
大工技能学科	39	36	36	100	25	21	21	100	41	34	34	100
インテリアデザイン学科	20	14	13	92.9	16	15	13	86.7	17	8	6	75.0
ロボット・機械学科	38	33	28	84.8	36	31	29	93.5	44	42	42	100
建築士専科	41	41	39	95.1	30	30	30	100	38	38	36	94.7
合 計	225	179	165	92.2	202	155	147	94.8	255	201	189	94.0

※ 内定率は、内定者÷求職者で、単位は%です

3. 教育行事

- 1) 企業研修 夏季:全学科合計97名 (H29:91名、H28:93名、H27:94名、H26:49名)
春季:全学科合計60名 (H29:52名、H28:55名、H27:67名、H26:42名)

※ 夏季または春季休暇期間中の1~2週間で実施

- 2) 保護者会の実施

※1年生対象:入学式後と12月(計2回)、2年生対象:4月開催(1回)

- 3) 大阪府「あすなる夢建築」コンペへの参加 ▶H30年度3名入賞
- 4) 大阪府民の森ほしだ園地、泉佐野丘陵緑地公園、大阪府水生生物センター等への大工技能作品寄贈
- 5) ロボット競技会の実施、及び全国専門学校ロボット競技会への参加
※第26回全国専門学校ロボット競技会(H30/12/21)の結果
▶有線型・自律型・2足歩行型の3部門で優勝、及び団体優勝
- 6) Honda エコノパワー燃費競技鈴鹿大会(エコラン)への参加
- 7) OCT 校友会・IIken・学生自治会共同開催による建築見学バスツアーを実施
2018.11.4 和歌山県(白浜、田辺)方面 (29名参加)

4. 教育改革等

入学直後に実施する学力テストの結果を元に選出した学力低位者を対象に「基礎学力育成講座(金曜午後1コマ)」を開講し学力の底上げを行った。専門教科の内容理解のためには基礎学力が必須であり、入学者の中には基礎学力が不足している者も少なからず存在し、これら補習講座の実施によって除中退の減少に多少の効果が図れたと推察する。

また、業界ニーズに対応するため、建築学科とインテリアデザイン学科において「BIM教育」(BIM対応の3次元CADによりPC上に現実と同じ建物の立体モデルを再現し設計に役立てる手法)をスタートさせた。これにより卒業設計や学外コンペに於いてその効果を発揮。また、広報、求人企業へのアピール材料としても有効なものとなった。今後、他学科に於いても同教育を広げていく。

次に、キャリアデザイン授業の一部である「進路基礎講座」は社会人マナーやSPI対策、学生の進路意識向上や活発な進路活動を促すことに効果を上げている。「企業研修」への参加学生数は夏季・春季ともに、昨年からの微増の結果であったが、企業研修は職業意識の強化や適性確認等、効果的に進路意識向上を図る術でもあり、企業に於いては採用活動そのものに繋がっている場合もある。受け入れ企業数に余裕を残している実情がある中、次年度に向けて企業研修参加への学生数増加に対する継続的な指導を強化する。

最後に、全学科(建築士専科・フレックス建築学科を除く)に於いて、文部科学大臣より「職業実践専門課程」に認定されていることから、実践的教育活動に向けたコンテンツの作成を各教育課程編成委員会を通じて、そこから出される意見を参考に継続的な検討を行った。

また、真の意味での職業実践、産学接続を実現すべく各学科で企業、行政等と連携した教育行事を行った。(上記「3.教育行事」参照)

(1) 資格取得強化事業

新入生全員(リカレント学生を除く)に対して実施している『ビジネス能力検定3級・2級(文科省後援)』と学科の授業科目に対応した『福祉住環境コーディネーター3級』、『2次元CAD利用技術者2級』及び建築士専科が100%合格を目標としている『2級建築士試験(国家資格)』の合格率は下記の通りである。

Ⅱ部・建築設計学科等を除く全学科(1年生)

(平成30.12.2実施)

資格名	受験者数	合格者数	合格率	全国平均
ビジネス能力検定3級	148名	119名	80.4%	80.7%
ビジネス能力検定2級	17名	15名	88.2%	69.1%

建築学科A・B・Cクラス(1年生)

(平成30.7.8実施)

資格名	受験者数	合格者数	合格率	全国平均
福祉住環境コーディネーター3級	101名	30名	29.7%	56.6%

ロボット・機械学科(1年生)

資格名	受験者数	合格者数	合格率	全国平均
2次元CAD利用技術者2級	20名	11名	55.0%	50.2%

建築士専科

2級建築士試験					
	受験者数	合格者数	不合格者数	合格率	全国平均
学科試験(1次)	38名	22名	16名	57.9%	37.7%
製図試験(2次)	22名	17名	5名	77.3%	54.9%
総合	38名	17名	21名	44.7%	25.5%

☆ エクステンション事業

資格取得支援事業として、主に卒業生及び在校生を対象に各種試験対策講座を実施した。

・講座事業

資格試験対策講座	受講期間	受講時間	受講者数
2級建築士合格講座(製図)	2か月	60時間	25名
第2種電気工事士講座(筆記&技能)	4か月	65時間	32名
合計			57名

*積水ハウス 設計マインド研修

1年次導入版として、10/11、21、22に入社1年目社員165名に研修(講習)を実施した。

4年次中級版として、8/20、21、23、24、9/10、11、13、14に入社4年目社員71名に研修(講習)を実施した。

☆ 校友会の活動状況

- 第 81 期定期総会および校友会創立 80 周年記念式典の開催
平成 30 年 11 月 11 日（日）USJスタジオジャパン「ステージ 33TM」にて開催した。
総会では、今西会長から村野新会長へとバトンが渡された。記念式典では 335 名の多数の参加者があり「ユニバーサルスターパーティ」においてエンターテイメント・パフォーマーなどを楽しんだ。
- 支部活動では、「伊賀城下町散策」（三重支部、奈良支部合同）、「OCT Walk in 京都伏見」（大阪支部）、「伊根の舟屋バスツアー」（Ⅱ部建築学科 OB 会）、新卒生のための「新会員歓迎会」（大阪支部）などを実施した。
- 「新外国留学生歓迎・交流会」を「大阪城見学&NATURA(大阪城公園内)」で開催した。
- 海外建築視察旅行 Part15（イタリア周遊&ヘルシンキ）を実施した。
- その他、例年通りドラゴンボート選手権大会に出場、資格取得者への報奨金制度、校友会ネットワーク推薦制度、在学生への奨励制度を実施した。

★ 大阪リハビリテーション専門学校

1. 入学試験の状況

学科名 \ 区分	入学定員	志願者	合格者	入学者
Ⅱ部理学療法学科（3年制）	40名	39名 (53)	34名 (41)	30名 (40)
Ⅱ部作業療法学科（3年制）	40名	57名 (40)	42名 (37)	39名 (30)

（ ）は昨年度数

理学療法学科においては、志願者 26%減となり、入学辞退者も 4 名でため入学者数は 30 名に終わった。作業療法学科においては、志願者 43%増であったが、入学辞退者が 3 名でため入学者数は 39 名に終わった。入学定員の確保と学生の質の担保というジレンマを克服するためには、何よりも志願者増が焦眉の急である。

2. 国家試験の合格者数の状況

専任教員による国家試験対策授業、校内模擬試験、外部講師による直前対策セミナーを実施し、以下のとおり国家試験に合格した。

(1) OCRの合格状況

	受験者数	合格者数	合格率
理学療法士	36名	36名	100.0%
作業療法士	35名	28名	80.0%

(2) 全国の合格状況

	受験者数	合格者数	合格率
理学療法士	12,605名	10,809名	85.8%
作業療法士	6,358名	4,531名	71.3%

3. 就職の状況

求人状況は理学療法士2,769件、作業療法士2,685件であった。

両学科ともに、専任教員が求人票に基づき学生指導を行うと共に、臨床現場におけるネットワークを最大限活用し就職支援を行った結果下記の通り成果を得た。

	卒業者数	国家試験合格者数	専任職としての就職者数	
			資格に係る業	その他
理学療法学科	36	36	35	0
作業療法学科	35	28	28	7

4. 教育指導

両学科とも夜間学科として勤労学生等の学びやすい環境を整備する観点から、カリキュラム編成、時間割編成について検討を重ねた。

理学療法学科では、平成28年度より18時間開講とし、土曜日の夜間においても授業を行った。

本来授業のない土曜日の昼間には、事前に学生にアナウンスして、臨床ゼミナールを中心に時間割を編成し、実技指導を中心に教育を実施した。

作業療法学科では、同様の理由から現在行っている時間選択制を続け、その功罪の検証を重ねている。成績不良者に対してきめ細やかな学習支援、個別指導、保護者との連携等の策を講じ、留年ひいては退学を防ぐことに、注力した。

また、両学科ともに職業実践専門課程として教育課程編成会議を年2回ずつ開催し、外部の委員の意見を取り入れながら教育方法の改善等を行った。

5. 学習環境（施設）の整備について

2号館の201～205教室・301～305教室の絨毯をルースレイタイルに変更し、張替えを行った。また、AV機器（201～205教室、301～305教室、402・502教室、講堂）の更新工事も行った。

学生の健康管理として看護師を毎日常駐させ急病人や健康相談への対応を行い、心理面での様々な悩みなどについては、相談窓口として外部から招いた臨床心理士による学生相談室を設け、学生生活全般におけるストレスや悩みなどに対応する事で心身両面から学生のサポートを行った。

★ 大阪保健医療大学

1. 入学試験の状況

(名)

区分 専攻名	入学 定員	志願者									入学者
		AO	公募制 推薦	一 般 (センター併用)	チャ レンジ	社 会 人	指定校 推薦	一般 (ST)	第一 次 第二 次 (研究科)	合 計	
理学療法学 専攻	70	71 (91)	93 (87)	35 (38)	30	0 (1)	3 (2)	—	—	232 (219)	74 (75)
作業療法学 専攻	30	27 (16)	36 (17)	14 (8)	20	1 (0)	5 (1)	—	—	103 (42)	37 (22)
言語聴覚 専攻科	40	—	—	—	—	—	—	43 (36)	—	43 (36)	27 (24)
保健医療学 研究科	6	—	—	—	—	—	—	—	6 (6)	6 (6)	6 (6)
合 計	146	98 (107)	129 (104)	49 (46)	50	1 (1)	8 (3)	43 (36)	6 (6)	384 (303)	144 (127)

(第2志望含む) () は昨年度数

リハビリテーション学科両専攻、大学院保健医療学研究科共に入学定員を確保した。

学部入試においては、チャレンジ (特待生) 入試の導入、理系・文系全ての受験者層が自分の得意科目を活かせるよう受験科目を選択可能としたこと、インターネット出願の導入、2回目以降の受験料の半額免除、指定校推薦入試の継続といった入試改革の各施策が一定の成果をあげたといえる。

専攻科に関しては、志願者数増・定員確保対策が喫緊の課題である。

2. 国家試験の合格者数の状況

学部では専任教員による国家試験対策授業、卒業生による対策講座、校内模擬試験、外部講師による対策セミナー、各専任教員による個別指導等を実施するなど、両専攻共に組織的な取り組みと各教員におけるきめ細やかな対応を行った結果、リハビリテーション学科の第7期生の合格率は下記の通りの結果であった。理学療法学専攻に関しては、初めて100%の合格率を達成したが、作業療法学専攻においては残念ながら全国平均を下回る結果となった。両専攻で情報を共有しながら、2019年度は共に全国平均を上回るだけでなく受験生全員の合格を達成できるよう対策を検討していく必要がある。言語聴覚専攻科においては、OCR時代より18年連続合格率第一位を達成した。

(1) OHSU の合格状況

	受験者数	合格者数	合 格 率
理学療法士	54 名	54 名	100%
作業療法士	35 名	22 名	62.9%
言語聴覚士	27 名	27 名	100%

(2) 全国の合格状況

	受験者数	合格者数	合格率
理学療法士	12,605名	10,809名	85.8%
作業療法士	6,358名	4,531名	71.3%
言語聴覚士	2,367名	1,630名	68.9%

3. 就職の状況

求人状況は理学療法士 3,018 件、作業療法士 3,018 件、言語聴覚士 1,629 件であった。

各専攻、専攻科ともに、専任教員が求人票に基づき学生指導を行うと共に、臨床現場におけるネットワークを最大限活用し就職支援を行った結果下記の通りの成果を得た。

	卒業者数	国家試験合格者数	専任職としての就職者数	
			資格に係る業	その他
理学療法学専攻	54名	54名	51	0
作業療法学専攻	35名	22名	21	0
言語聴覚専攻科	27名	27名	27	0

※理学療法学専攻では、国家試験合格者のうち、活動中 2 名・確認中 1 名。

※作業療法学専攻では、国家試験合格者のうち、進学した者が 1 名。

4. 教育指導

学生生活や学習面でのサポートについて、下記のとおり対策を行った。

- ・ 学生支援塾の設置
- ・ ガルーン及び Moodle を利用して教室の使用状況を確認するためのシステム導入
- ・ 2 学期クォーター制の導入
- ・ 精神保健福祉士の配置

5. 施設・設備

1 号館トイレの改修工事を行った。また、2 号館の 201～205 教室・301～305 教室の絨毯をルースレイタイルに変更し、張替えを行った。また、1 号館 (140・142・143・152 教室)・2 号館 (201～205 教室、301～305 教室、402・502 教室、講堂) の AV 機器の更新工事も行った。

6. 自己点検・評価

平成 27 年度に日本高等教育評価機構の大学認証評価を受審し、「適合」の認定を受けたが、その際に改善の指摘を受けた基準項目 2-8 と基準項目 3-4 については解消し、その結果を財団法人日本高等教育評価機構に報告、大学ホームページに公表している。また、毎年作成している本学独自の「自己点検・評価報告書」で示された各基準項目の「改善・向上方策」の継続課題について内容を精査し、ホームページ上にその内容と対策を公表した。

理学療法専攻・言語聴覚専攻科が一般社団法人リハビリテーション教育評価機構の教育評価認定審査を受審し、「適合」と認定を受けた。

☆ 福田学園校友会の活動状況

1. 理事会及び部会の開催

①理事会

理事会は5回開催され、研修活動、在校生支援活動、総会準備、予算案等について積極的な議論がなされた。

②部会

PT部会では研修会を3回、OT部会では研修会を2回、ST部会では研修会を2回実施した。

2. 福田学園校友会研修会実施について

次のとおり平成30年度研修会〔対象：校友会正・準会員〕を実施した。

日 時：平成30年5月20日（日）

講 師： 水谷 和郎先生（神戸百年記念病院 内科部長）

テーマ：「『被災地の端っこの病院』からの提言」

— 兵庫県立淡路病院救急外来映像が語り継ぐもの —

参加者：33名

3. 在校生・学校支援について

- ・在校生支援として、図書館に約30万円分の図書を寄贈した。
- ・会員支援として、カンボジアスタディツアーに助成金を出した。
- ・学園にデジタルサイネージ（約100万円）を寄贈した。
- ・学校式典に出席、学園祭に出店した。
- ・日本国際ドラゴンボート選手権大会にOCT校友会と合同で参加した。

★ 福田学園

1. 理事、監事、評議員について

理事	選出母体	
1号	設置する学校の長(1名)	福田 益和
2号	評議員会(2名)	宮崎 安弘
		佐藤 誠
3号	学識経験者(4名)	山本 一仁
		清野 佳紀
		渡邊眞一郎
		福田 眞
監事		水島 洋
		村岡 かほる

評議員	選出母体	
1号	学園職員(6~8名)	福田 益和
		佐藤 誠
		伊東 和幸
		石倉 隆
		今井 公一
		越智 久雄
		宗林 功
2号	卒業生(3~4名)	今西 永兒
		高山 厚
		村野 智子
		井口 知也
3号	学識経験者(6~8名)	宮崎 安弘
		山本 一仁
		清野 佳紀
		福田 眞
		福田 祐子
		岡山 保美
		増原 建作
		高橋 弘樹

2. 教職員の状況

		2019年5月1日現在	30年5月1日現在	増 減
OCT教員	専任教員	15	14	+1
	非常勤講師	76	74	+2
	(小計)	91	88	+3
OCR教員	専任教員	14	14	0
	非常勤講師	73	72	+1
	(小計)	87	86	+1
OHSU教員	専任教員	34	31	+3
	非常勤講師	171	168	+3
	(小計)	205	199	+6
事務局	専任事務職員	27	26	+1
	業務委託派遣事務職員	3	3	0
	(小計)	30	29	+1
合計	専任教職員	90	85	+5
	講師・派遣	323	317	+6
	(合計)	413	402	+11

3. 自己点検評価、学校関係者評価、第三者機関評価及び評価結果公表について

OHSUにおいては、平成27年度に「日本高等教育評価機構」による大学認証評価（第三者評価）を受診し、無事に機構が定める大学評価基準に適合しているとの認定を受け、「改善を要する点」が付けられていたが、平成29年7月10日付で改善報告書を日本高等評価機構へ提出並びに大学HP上に公開している。

OCT、OCRにおいても、職業実践専門課程の認定（申請条件）の中で、文部科学省が策定したガイドラインに基づき、学内における自己点検・自己評価、また、外部関係者を委員とした学校関係者評価を行うとともに、その結果をOCT、OCRホームページ上に公開した。

4. 「教育の質の確保と向上」に向けた3カ年計画の策定について

経済状況の変化やグローバル化、就労に対する価値観の多様化、少子化等、学校を取り巻く環境は、日々が大きく変化している。この様な大転換期においては、安定した学生数の確保のため、更なる信頼性の向上が求められ、特に教育の質の確保と向上に向けた取組みは不可欠となっている。

このため、引き続き平成30年度もOHSU、OCT、OCRにおいては、教育の質の確保と向上に対する3カ年計画（「中期展望」、「期間中の取組み」）を策定の上、目標設定等具体的に取り組んだ。

特に3校とも、「教育機材、機器備品の購入、校舎、建物附属設備の改修」については、3ヶ年計画の項目に必ず盛り込むこととした。

5. 経費削減対策について

ここ数年で、学園のサーバーのクラウド化、ネット回線・光電話の契約先変更、学園全体の複合機、コピー機、プリンターの全台入替え、1、2号館の空調機の更新、デマンドコントローラー設置、電力使用量の監視測定器設置にて経費削減の対策を講じてきた。さらに、平成30年度には、補助金を活用して1号館の照明機器をすべてLEDへ改修し、更なる経費（電気料金など）削減を行った。

6. 教育訓練給付制度（専門実践教育訓練）の指定について

厚生労働省が主幹となり、非正規雇用労働者である若者等がキャリアアップ・キャリアチェンジして安定的に働くことができるよう教育訓練給付が拡充された『専門実践教育訓練』が創設され、OCRでは、平成27年度PT学科（3年制）、平成28年度OT学科（3年制）において指定を受けていたが、平成30年度PT学科（3年制）に関しては、指定要件を満たせず指定から外れた。また、OHSUでは、平成27年度からST専攻科で指定を受けており、平成30年度も再指定を受けることができた。

7. 教育訓練給付制度（一般教育訓練）の指定について

労働者の主体的な能力開発の取組み又は中長期的なキャリア形成の支援、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とする教育訓練給付にある『一般教育訓練』において、平成30年度に大学院の「運動器疾患・スポーツ傷害身体障害支援学領域」・「認知・コミュニケーション障害支援学領域」が指定を受ける事ができた。

8. 文部科学省の認定制度「職業実践力育成プログラム (BP)」の認定について

文部科学省の認定制度である、高等教育機関におけるプログラムの受講を通じた社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大及び大学等における社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムである「職業実践力育成プログラム (BP)」に、大阪保健医療大学大学院保健医療学研究科保健医療学専攻の脳神経疾患身体障害支援学領域が認定された。

9. ネット出願の導入について

OCT に於いては、「キャリア教育共済協同組合」のネット出願事業の先行的取組みを継続利用し、平成28年度41名、平成29年度53名、平成30年度93名のネット出願となった。特に、平成30年度は2月以降のネット出願数が、79名とネット出願全体の大半を占め、明らかに大学からの進路変更や併願組の出願が目立った。今後、文科省が推進する『高大接続改革』にも対応したネット出願のシステム内容についても注視して行く必要がある。

また、今後の大学入試改革における主体性等評価におけるeポートフォリオとの接続等の観点からも、ネット出願は時代の趨勢であることから、平成30年度よりOHSUの学部の全入試、さらにST・OCRの年明け以降の入試において、ネット出願を導入した。

10. 学園施設設備改修計画について

1号館トイレの改修工事及び外壁の打検調査を行った。さらには、大阪府北部地震などの影響もあり、1号館西側出入口の門扉の補修、北側の地盤からの建物内への漏水など計画予定になかった緊急性の高い箇所の改修が発生した。なお、今後数年は各建物等の改修計画を検討している。

参考資料

★大阪工業技術専門学校

＜学科別学生数の状況＞

(2019年5月1日現在)

学科名	修業年数	1学年	2学年	在籍数	増減	定員	在籍率(%)
建築学科	2年	130	96	226	+5	160	141%
建築設計学科	2年	24	17	41	-9	80	51%
設備環境デザイン学科	2年	14	12	26	+4	50	52%
大工技能学科	2年	44	32	76	-12	80	95%
インテリアデザイン学科	2年	37	25	62	+18	80	78%
ロボット・機械学科	2年	46	41	87	-1	80	109%
建築士専科	1年	46	0	46	+8	50	92%
I部小計		341	223	564	+13	580	97%
増減		+22	-9	+13			
建築学科II部	2年	44	47	91	-4	160	57%
フック建築学科	2年	4	7	11	0	80	14%
II部小計		48	54	102	-4	240	43%
増減		-6	+2	-4			
合計		389	277	666	+9	820	81%
増減		+16	-7	+9			

★大阪リハビリテーション専門学校

＜学科別学生数の状況＞

(2019年5月1日現在)

学科名	修業年数	1学年	2学年	3学年	4年生	在籍者数	定員	在籍率(%)
理学療法学科	3年	32	28	39	—	99	120	82.5
作業療法学科	3年	39	30	29	—	98	120	81.7
合計		71	58	68	—	197	240	82.1

★大阪保健医療大学

＜学科—専攻、専攻科別学生数の状況＞

(2019年5月1日現在)

専攻名	修業年数	1学年	2学年	3学年	4年生	在籍者数	定員	在籍率(%)
理学療法専攻	4年	74	75	63	62	274	280	97.9
作業療法専攻	4年	38	23	15	30	106	120	88.3
学部小計		112	98	78	92	380	400	95.0
保健医療学研究科	2年	6	6	—	—	12	12	100.0
言語聴覚専攻科	2年	28	20	—	—	48	80	60.0
合計		146	124	78	92	440	492	89.4